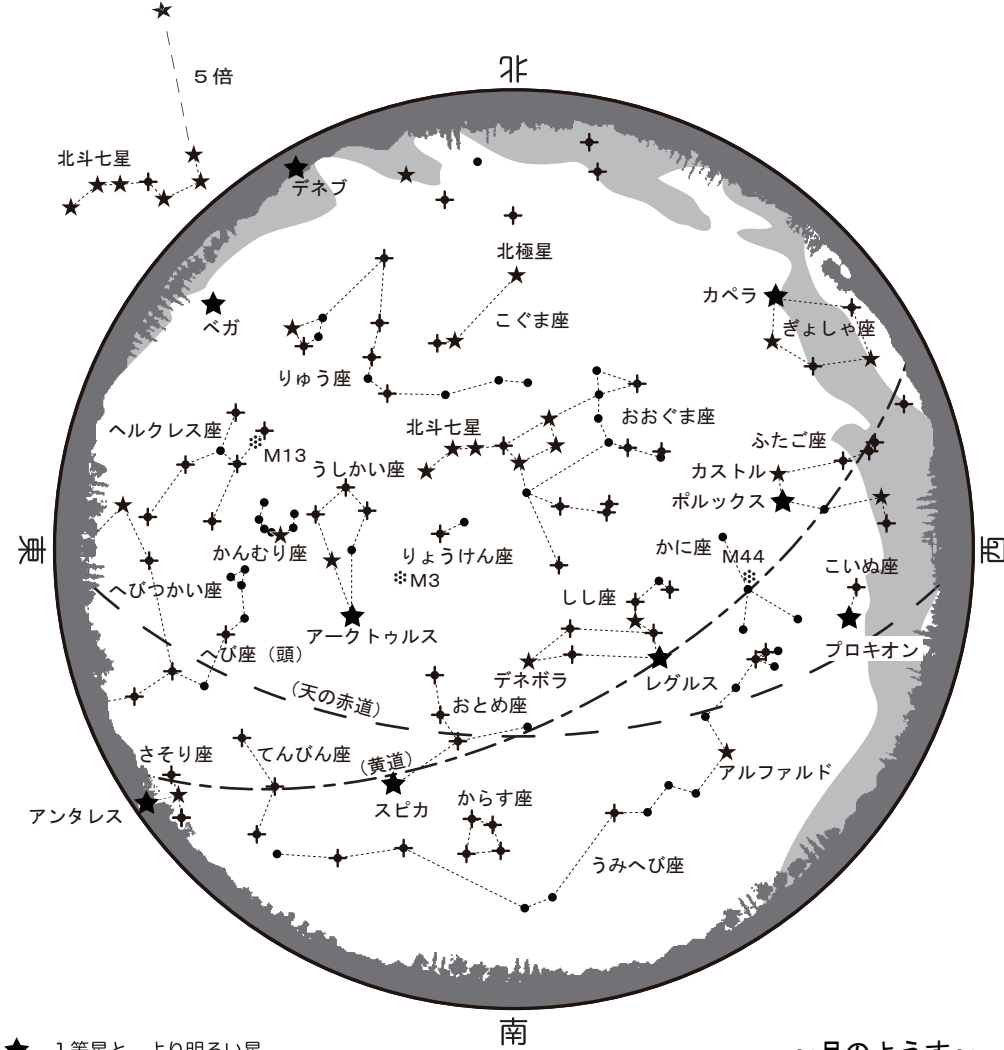


富山でみえる 2022年5月の星空

北極星の見つけ方 自分の見たい方角を下にして、その方角の空を見よう。



- ★ 1等星と、より明るい星
- ★ 2等星
- ✦ 3等星
- 4等星と、より暗い星
- ◎ 変光星
- ⊛ 星団
- ☁ 星雲
- ☾ 銀河

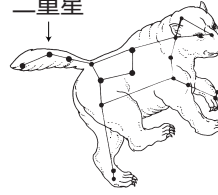
～この星空が見えるのは～

- 5月 5日 21時ころ
- 5月 20日 20時ころ
- 6月 5日 19時ころ

～月のようす～

- 5月 1日 新月 ●
- 5月 9日 上弦 ◐
- 5月 16日 満月 ○
- 5月 23日 下弦 ◑
- 5月 30日 新月 ●

二重星



おおぐま座

北極星を探す目印として有名な、ひしゃくの形の「北斗七星」がある星座です。北斗七星は、おおぐまのおしりからしっぽの部分になります。ひしゃくの柄の端から2番目の星は、ミザールとアルコルという、肉眼でも分かる二重星です。



うしかい座

とても明るく輝くオレンジ色の星アークトゥルスが目印の星座です。この星には「熊の番人」という意味があり、明るさは0等星です。日本では「麦星」と呼んでいたところもあります。隣のりょうけん座は、この牛飼いの飼っている犬です。



おとめ座

青白く輝く1等星のスピカがある星座です。この星座は農業の女神デーメーテルの姿とも言われ、左手に麦の穂を持っています。そこに輝いているのがスピカで、とがった麦の穂の先という意味があります。



からす座

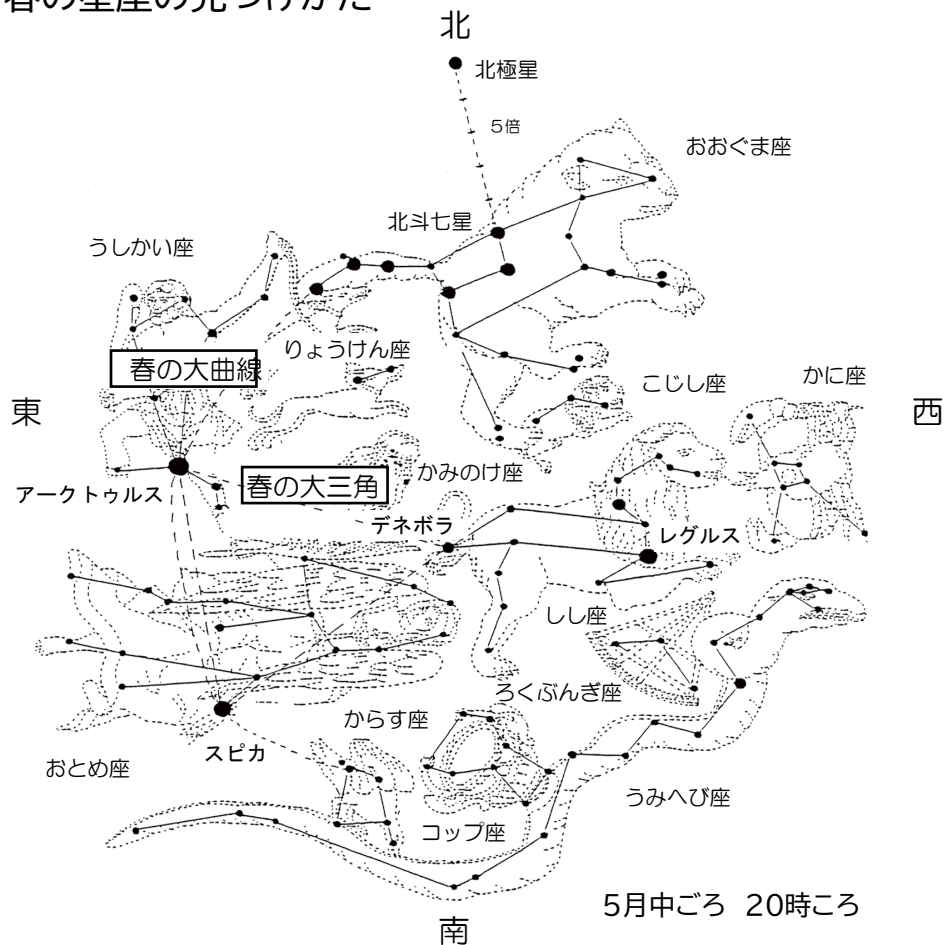
暗めの星4つが作る小さな四角形の星座です。ギリシャ神話では、黒いカラスが銀のクギで夜空にはりつけにされており、4つの星はそのクギであるとされています。日本では船の帆の形に見たてて「帆かけ星」と呼んだところがあります。



うみへび座

かに座の南に頭があり、暗い星を東へずっとたどって長いへびの形を作ります。88個の星座の中で最も大きな星座で、神話ではヘラクレスに退治された怪物ヒドラです。うみへび座の背中には、からす座が乗っています。

春の星座の見つけかた



- 1 北の空で、北斗七星を見つけます。
- 2 北斗七星の柄のカーブを伸ばし、うしかい座のアークトゥルス、おとめ座のスピカ、からす座と続く「春の大曲線」を見つけます。
- 3 アークトゥルス、スピカ、しし座のデネボラでつくる「春の大三角」を見つけます。
- 4 デネボラの西側に、明るく輝くしし座のレグルスを見つけます。
- 5 星座の中で最も大きいうみへび座、2番目に大きいおとめ座、3番目に大きいおおぐま座を見つけてみましょう。

5月上旬の日没後の西の空で水星がすばるに接近!

太陽系の一番内側を公転する水星は、1等星なので肉眼でも見える惑星ですが、太陽に近すぎるため、見えにくい惑星でもあります。しかし、今年の4月末から5月初めにかけては見つけやすくなっています。特に5月3, 4日は新月を過ぎたばかりの月も近づくので探しやすいでしょう。さらに、水星がおうし座のすばる(プレアデス星団)に接近するので、西の低い空が見渡せる場所で、双眼鏡があれば、より楽しむことができます。



月が金星に接近!

5月27日、夜明け前の東の低空で明るく輝く金星に細い月が近づき、美しい眺めになります。さらに右に目を向けると、火星と木星が輝いています。夜が明けて明るくなるにつれて、金星も細い月も青空にかき消されるかのように見えなくなっていくいきます。

